

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月15日(18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 大岡・脇・竹垣・石田・片岡・喜田・嵯峨山・藤丸・近藤文・近藤さ・高島・桂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計表		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	7		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	10	1		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	7	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・朝のミーティング時や月1回のサービス評価改善委員会を開催し、利用者の方の支援内容変化のみられる点など細目に把握できるように取り組んでいる。日々の状態についてや状態変化がみられた際には、看護や上司に報告、その他についても業務日誌、記録等で情報共有を図っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・当事業所を利用されるまでの経緯について、しっかり把握できていない点が挙げられる。状態変化がよく見られる利用者の方の細かな記録記入や、検討し決まった周知事項の内容について、日誌に記入できていない点、引き継ぎ不足の点があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・以前の暮らしを把握できていない点については、利用者・家族とのコミュニケーション不足が考えられるので、利用時や送迎時において情報を得られるようにする。支援を通して知り得た情報を共有できるようにするには、一人ひとり責任を持ち日誌への記入又は、生活記録、口頭においての細目な報告を忘れることなくおこなっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月15日(18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大岡・脇・竹垣・石田・片岡・喜田・嵯峨山・藤丸・近藤文・近藤さ・高島・桂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計表		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	2		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	2		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		10	2		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	8	2		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・行事委員会を開催し計画の基、地域の行事・秋祭りへの参加などを行ない地域との関係を継続できるよう取り組んでいる。又、年1回ではあるが家族交流会を実施し、家族間の交流が図れるよう団らの時間を提供している。県外の家族の方には、手紙や電話でのやりとりを行ない関係を保っていけるよう気をつけている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用日以外の様子については、送迎時などにおいて体調面の変化については聞き取っているが、過ごし方までは把握できていない点が挙げられる。情報収集は支援を行なう上で大変重要だが、全ての面においての把握ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の方によると、利用日以外の日の過ごし方まで聞かれることが嫌な方がおられると思うが、利用時においてのコミュニケーションを大切に、情報収集が沢山挙げられるように関わりを持っていく。	